

三鴨小だより

学校教育目標

やさしい子 かしい子 たくましい子

第12号

発行日 平成30年9月20日

発行者 三鴨小学校長 廣田 昌英

1人にしないでね！

13日（木）は、全校全校児童による応援合戦の練習が初めて行われました。応援団員が登場して、まずは紅白それぞれの団長が「フレー！フレー！みーかーもー！」です。その張りのある声にはビックリしました。この子が腹式発声でこんな大きな声を出せるなんて！さすが団長ですね。感激です。そして、団長に続いて全校児童の発声です。「ふれい、ふれい、みいかあもおい」……。その声の情けなさに腰から崩れ落ちそうになりました。おいおい、みんな、団長が気合い入れて頑張ってるのに、そりゃないだろ？初練習で勝手が分からないだけだよな？これから団長を中心に立派な応援合戦を作りあげていくんだよね？両団長、くじけずに頑張ってくれよ！

まあ、ありがとね...

14日（金）の2時間目は、1～3年生が校庭を使ってダンスの練習でした。優秀な振り付け師のおかげで全員がダンスの振り付けは覚えたものの、校庭いっぱいを使ったフォーメーションはまだまだ習得中なのです。朝礼台上の矢部先生の模範演技を見ながら、全員が本番と同じ動きを繰り返して練習していました。すると、どこからかダンスの曲に合わせて大きなかけ声が聞こえてきます。1～3年生はそのかけ声に応えるかのように、元気に踊るのです。そして演技終了後には大きな拍手が送られました。かけ声と拍手の送り主は誰だったんでしょう？それは体育館前でダンス練習を見学していた5年生でした。5年生、とってもいい応援だったぞ！ありがとう！本番も頼んだぞ！.....ん？ところで君たち、2時間目は何やってたんだ？

すばらしいのは...？

この日は「よさこい藤岡」の練習でした。板橋先生を中心に、まずは踊る練習です。私も初めてなので頑張って覚えようとしたのですが、残念ながら覚えきれません。どうやら私には専属の振り付け師が必要なようです。次に、踊りを覚え

た子どもたちは、鳴子の音を立てずに静かに踊る隊形を作り、本番と同じように踊り、踊った後は鳴子を応援席に片付け、閉会式の隊形に移動するという練習です。上級生のリードにより、時間どおりに練習を終えることができました。そして職員室に戻ると、ある先生が言いました。「三鴨の子はすばらしいですよ！」。おやおや？どんなすばらしいところを発見してくれたのかな？と続きを待っていると、「呼子をとっても丁寧にしまうんです。ホントに物を大切に使うんですね。私、感激しました。」だそうです.....確かにすばらしいことですよね。でも.....踊りをほめてくれるんじゃないのかよ？

日々精進

藤岡第一中学区の小中学校（藤岡小、赤麻小、三鴨小、藤岡第一中）では、ほぼ全員の先生が他校の先生にも見ていただく公開授業を行っています。これは小中一貫教育としての取り組みであり、「見せ合う授業」と名付けられています。本校職員にとっても、より専門性の高い中学校の授業がたいへん参考になったり、他の小学校の優れた指導法を実際に見ることができる、たいへんいい機会になっています。ニコリンピックを目前に控えた18日（火）もそれは実施され、本校からは飛鳥先生と坂本先生が藤岡第一中に授業を参観に出かけ、谷津先生が他校の先生方をお招きして公開授業を行いました。谷津先生の授業は6年生の算数です。かなり難解なクイズのような問題を扱う授業でした。他校の先生方にも参観していただくということで、谷津先生もちょっとだけ“よそ行き”の授業を組み立ててくれたんでしょうね。それにしても私は「こんな難しい問題、6年生は大丈夫なの？」と心配していたのですが、6年生も頑張って頭をひねってくれて、とてもいい授業になりました。もしかしたら、6年生も“よそ行き”の姿だったのかも知れませんね。見せ合う授業、とても効果がありそうです。ちなみに.....谷津先生、服装は普段着でした。